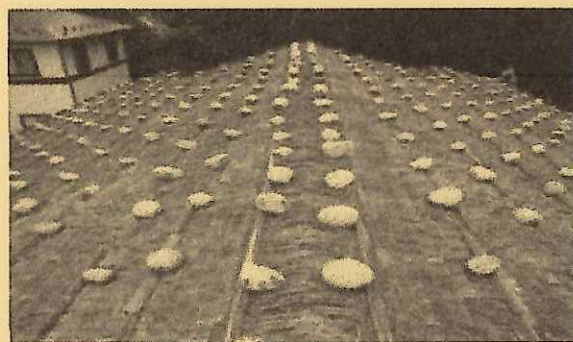


曾根原家住宅の特徴について知ろう

～現存する県内最古の民家(農家)建築のひとつ～
(国重要文化財)

曾根原家住宅は松本藩松川組新屋村の庄屋をつとめた旧家です。建てられたのは 17 世紀中ごろ(約 350 年前)と推定され、古い時代に建てられた民家(農家)の事例としては、きわめて重要な建築文化財であるとして、昭和 48 年(1973)に国の重要文化財に指定されました。石置き板葺き屋根が特徴で、本棟造の古い姿を伝える建築として評価されています。今回のトークサロンでは、曾根原家住宅の特徴をさらに深堀して、その重要性を知っていただこうと思います。



↑ 石置き板葺き屋根の様子
← 曾根原家住宅全景

話し手： 山下泰永 さん

穂高町役場に就職し以降、文化財を担当してきた期間が長かったこともあり、幸運にも、昭和 62 年の屋根葺替修理(屋根板差替)、平成 10 年の屋根葺替修理(全面葺替)、平成 29～30 年の屋根葺替(全面葺替)及び耐震補強工事に立ち会うことができました。また、その中で建築の先生方から多くを学ぶ機会を得ることができましたので、その辺りをお話しし、次回曾根原家に行った時に確認していただければと思います。

日時：令和 8 年 8 月 8 日(土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：穂高会館第 3 会議室(安曇野市穂高 5047)

参加費：500 円 (定員 30 名)

申し込み先：手塚 090-1883-6867 (9:00～17:00)

またはこちらにアクセス→



と〜くサロンとは…

月に一回集まって、年齢も性別も経歴も関係なく井戸端会議感覚で地域の方のお話を聞きましょう、という会です。気楽に参加いただきたいのですが、資料の準備の関係でできるだけ予約をお願いしております。

次回は… 9 月 5 日(土) 13:30～

「みんなの知らない音楽家の裏世界」

小仁所良一さん・小仁所一恵さん(音楽家)です。